

4 水環境の保全等

2010(平成22)年度までに河川水質の環境基準(環境保全目標)を概ね達成することなどを目標に、河川などの水質汚濁の主な原因である生活排水対策を重点的に進めます。

(1) 水循環の再生

河川の水質管理と健全な水循環の構築に向けた取り組み

【環境管理室 内線：3854】

大阪府環境審議会における検討結果を受けて、府内河川に適用する水質環境基準の類型を改定するなど、よりよい水質を目指して水質改善に取り組みます。

特に、大和川は、国管理河川の中で平成17年から19年まで3年連続して全国水質ワースト1となっており、ワースト1の安定的脱却に向けて、平成20年度に設置した「大和川水質改善検討チーム」において、生活排水対策を中心とした効果的取り組みを推進します。

また、府内河川で最も水質が悪く、全国でも水質ワースト河川となっている見出川において、水質の改善や、健全な水循環の再生をめざし、見出川流域水循環再生協議会(平成19年度設立：地元市民団体、小学校、学識経験者、行政等で構成)が中心となって、水循環再生計画を策定するとともに、清掃活動や普及啓発を実施します。

(環境関連主要事業(予算額)一覧 NO.26)



<見出川パネル展>

(2) 水環境の保全

生活排水対策の推進

【環境管理室 内線：3854】

府域で発生する水の汚濁負荷の約4割を未処理の生活雑排水(台所排水など)が占めています。下水道や合併処理浄化槽等を効率的・効果的に整備し、この生活雑排水の適正処理を進めるため、「大阪府生活排水処理実施計画」に基づき、市町村に対し生活排水処理計画の見直しを働きかけるとともに、技術的支援を行います。

また、「大阪府生活排水対策推進月間」(2月)を中心に、各種イベントや媒体を通じて、各家庭における府民一人ひとりの負荷削減の取り組みを呼びかけます。

(環境関連主要事業(予算額)一覧 NO.167)



<泉南こども地域交流会でのパネル展示>

大阪湾の再生

【環境管理室 内線：3854】

大阪湾の水質改善を図るため、引き続き、水質総量規制等による汚濁物質の流入負荷削減を推進するほか、「大阪湾再生推進会議」にも参画し、水質一斉調査の実施など、様々な

機関と連携して大阪湾の再生に取り組みます。

また、将来を担う子どもたちに大阪湾の環境の大切さを引き継ぐことをテーマに、大阪湾沿岸 23 自治体で構成する「大阪湾環境保全協議会」において平成 20 年度に作成した「大阪湾かるた」等を用い、参加型の普及啓発事業を実施します。

(環境関連主要事業(予算額)一覧 NO.168)



<大阪湾かるた>

浄化槽整備事業の推進

【環境衛生課 内線：2577】

生活排水対策やトイレの水洗化による生活環境の改善に効果的な浄化槽の設置を促進するため、個人が浄化槽を設置する際の費用の一部を助成する「浄化槽設置整備事業(個人設置型)」及び市町村が主体となって各戸に浄化槽を設置し、住民から使用料を徴収して管理運営する「浄化槽市町村整備推進事業(市町村設置型)」を実施する市町村に対して、引き続き府費補助金を交付するなど、より一層の浄化槽整備を図ります。

(環境関連主要事業(予算額)一覧 NO.161)

流域下水道事業の推進

【下水道室 内線：3959】

大阪湾や河川等の公共用水域の水質改善のため、流域下水道の幹線管渠、ポンプ場、水みらいセンター(下水処理場)の整備を推進します。水みらいセンターにおいては、富栄養化の原因である窒素・りん等を除去する高度な水処理施設の整備を推進します。

(環境関連主要事業(予算額)一覧 NO.189)

海底堆積物除去事業

【水産課 内線：2765】

河川から流れ込み、大阪湾の漁場海底に堆積したプラスチックやビニール、空き缶・ペットボトル等の廃棄物は、魚介類の生息環境を悪化させるだけでなく、漁船や漁具の破損の原因になるなど、漁業操業の種々の障害となっています。

このため、これらの廃棄物を引き揚げ・除去し、漁場の再生産機能の回復と海域環境の保全を図ります。

(環境関連主要事業(予算額)一覧 NO.180)